

[地域] [団体名]

庄内

藤倉山ブナ林保存会

[活動地]

鶴岡市三瀬地区
やまがた百名山 藤倉山



団体紹介



鶴岡市三瀬地区の農林業・水産業を支えている藤倉山のブナ林の大切さを後世に引き継ぐために活動している。主な活動は自然に触れ合いながら、登山道整備や開山祭、閉山祭の開催、ブナ林での学習会、地域の子供達との植樹体験などです。
2022年5月にはNHK山形放送局の「やまがた百名山シリーズ」で今年最初の放送に藤倉山が選ばれた。TV撮影には会員が同行・案内して藤倉山の魅力を県内外に紹介することが出来た。

「危険木の伐採」 実施日：令和4年4月9日(土)



活動内容

やまがた百名山の藤倉山の東側稜線には樹齢150年を越える赤松が20本近く育っていたが、虫害により立ち枯れ、その一部はこの稜線にある登山道への倒木や枝折れ落下の危険があった。登山者や自然学習会参加者の安全を守るため、これまでは「危険告知看板」を設置してきた。

このたび、山形県みどり豊かな森林環境づくり推進事業により、2021年11月7日、2022年4月9日両年に亘って10本を越える危険木の伐採を実施する事が出来た。「やまがた緑環境税」を活用して、森林組合員3名と藤倉山ブナ林保存会の会員とで行った。

活動を行っての感想

獅子畑コースの整備で「春・秋の学習会」の参加者や登山者の安全・安心を確保することが出来た。伐採による副産物として、景観がよくなり皆様から感激されています。



「危険告知看板設置」 実施日：令和4年5月22日(日)



活動内容

獅子畑駐車場から登山口に向かう水無川に架かる丸太橋が老朽化しているので、「やまがた緑環境税」を活用して橋の両脇に学習会参加者や登山者の安全を確保するために危険告知看板を設置した。

活動を行っての感想

「危険告知看板」の設置により、学習会参加者や登山者が注意して橋を渡るようになりました。安全・安心を確保することが出来た。ただ、橋の架け替えも検討する段階に入っている。

「地区住民による植樹」 実施日：令和4年11月20日(日)

活動内容

「やまがた緑環境税」を活用して、二口登山口駐車場付近で子供達やそのご家族と一緒に植樹を行いました。

足場がぬかるむ中、森の大切さなどをお話しながら楽しく植樹を行いました。

活動を行っての感想

「植樹体験」を募集したところ、地元豊浦小学校ははじめ多くの方々の参加がありました。

ところが、休校するほど多数のコロナ感染者が出た為に少人数での植樹になりました。数年後、数十年後に子供達がどんな気持ちで自分が植えた木をながめてくれるか楽しみです。



「春の学習会の開催」 実施日：令和4年5月1日(日)



活動内容

第10回藤倉山開山祭を実施した。森林・自然環境学習の一つとして学習会の観察用冊子「あなたを待つ やまがた百名山 藤倉山の春」を作成し、参加者に配布して学習会を行った。この冊子は「やまがた緑環境税」を活用して作成した。

当日はあいにくの雨模様だったが40名の参加者があった。予定では獅子畑コースから二口コースへの縦走だったが、今回は雨天を考慮して獅子畑コースの往復登山となった。

活動を行っての感想

霧がかかる中、生き生きとしたブナ林や山ツツジの花が迎えてくれました。ブナ林は神秘的でその鮮やかさや重量感ある木肌に感動する事が出来た。晴れ間の中で冊子による観察学習会を行いました。参加者には好天では味わえない体験をして頂き感激して頂きました。



▲冊子「藤倉山の春」

「秋の学習会の開催」 実施日：令和4年11月6日(日)



活動内容

第10回藤倉山閉山祭を実施した。森林・自然環境学習の一つとして学習会の観察用冊子「あなたを待つ やまがた百名山 藤倉山の秋」を「やまがた緑環境税」を活用して作成し、参加者に配布して学習会を行った。学習会では藤倉山のブナ林が地元三瀬地区などに果たす役割などを説明しました。

活動を行っての感想

ブナは落葉していましたが、カエデなどの紅葉が出迎えてくれました。山頂での昼食時や登山中に冊子「藤倉山の秋」を使い藤倉山が近隣地域にもたらす恵みなどを説明して参加者に藤倉山が果たす役割を理解して頂きました。

二口登山口へ下山した時に大粒の雨が降り出し、近くの八森山スキー場ヒュッテに移動して閉会式を行いました。閉会式では藤倉山から流れ出た水を使って作った「雪若丸」の新米を参加者にお土産としてお渡ししました。皆さんには大変喜んで頂きました。下山時には登山前の受付名簿により、点呼を行い参加者が全員下山していることを確認しました。



▲冊子「藤倉山の秋」